

2023年2月20日 第447号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)
http://www.kyodo-center.jp mail: move@zenroren.gr.jp

総がかり行動実行委員会「19日行動」に 1300 人

大軍拡・大增税反対！ 敵基地攻撃能力の保有を許さない！

平和・くらし第一の政治に転換させよう！

総がかり行動実行委員会は2月19日、国会議員会館前で「軍拡やめろ！軍事費（防衛費）特措法案廃案！改憲発議反対！辺野古新基地建設中止！いのちと暮らしを守れ！2・19国会議員会館前行動」を行い、1300人が参加しました。予算審議がすすむ中、大軍拡・大增税、敵基地攻撃能力の保有は許さないと声をあげました。社民党の福島瑞穂参議院議員、日本共産党の山添拓参議院議員があいさつし、立憲民主党、沖縄の風、韓国の19日行動からのメッセージが紹介されました。

総がかり行動実行委員会共同代表の小田川義和憲法共同センター共同代表が主催者あいさつ。「敵基地攻撃能力の保有ということでトマホークを大量に買いどこに配備するというのか。43兆円ありきで大軍拡の積算根拠も示していない。民主主義、立憲主義を無視し、自衛隊を海外に出そうとしている。新しい戦前とはそういうことではないか。納得できないことには声をあげ行動を起こそう。予算委員会での立憲野党の追及の後押しをしよう」と呼びかけました。



改憲問題対策法律家6団体連絡会の大江京子弁護士は、3月2日に衆議院憲法審査会を開こうとしていることについて「予算委員会は戦争準備についての審議もされる。憲法審査会は開かず予算委員会に集中すべき。政府は戦争法、安保関連3文書では不十分と考えており、9条改憲を狙っている。市民と野党、労働組合、法律家で共同し、反対していこう」と呼びかけました。

日本女医会会長の前田佳子さんは、「平和を求め軍拡を許さない女たちの会」のネット署名が7万8000筆を超えたことを紹介。「防衛予算を増やすために税金を注ぎこみ、医療、社会保障、教育が削られる。物価高のなか、大軍拡に税金を使うことはあってはならない。『軍拡より生活』で連帯しよう」と呼びかけました。

安保関連法に反対するママの会@ちばの小林さんは、「幕張メッセで武器見本市が開催される。3月15日に抗議行動をするので広めてほしい。武器は人を殺すためのもの、私たちの税金は困った人たちのために使ってほしい。死の商人はおことわりだ」と訴えました。

憲法9条を壊すな！実行委員会のふやふやさんが行動提起を行いました。